参考資料１

第３回分科会の主な委員ご意見

項目	ご意見
全体	●大規模災害発生時の対応に不安を感じる市民が多いことが示されている。東日本大震災の経験や近年の災害の多発を踏まえ、本計画においても災害対策を重要な視点として位置づける必要があるのではないか。資料２ページの計画策定の趣旨について、国の動向等に、災害対策基本法や住宅セーフティネット法改正の内容についてはもう少し記載した方がよいのではないか ●「策定の趣旨」「国の動向」「第５章」のそれぞれに一体的に策定する関係計画の記載があり、重複感がある。 ●国の動向の法令の記載内容の表現について、法則性や統一感を持たせた方がよい
基本的方向１	●（３）誰もが暮らしやすい生活環境づくり ・高齢者の交通に関する問題について触れなくてもよいか。 ・ユニバーサルデザインとバリアフリーの関係性が分かるよう、補足的な記載が必要ではないか ・「高齢や障害、疾病等が理由で援助を必要としている身近な人のケアを無償で行っているケアラー」との記載があるが、「支援」の方がよく使われる言葉ではないか ●（４）住まいや就労の確保の支援の推進 ・「市営住宅による入居支援を行い、民間賃貸住宅と連携した重層的かつ柔軟な住宅セーフティネット機能の構築」の記載が分かりにくく感じられるため、加筆し、分かりやすくしていただきたい ・居住支援協議会や居住支援を進めるとの記載があるが、現在は居住サポート住宅が具体的な施策として位置付けられていることから、居住サポート住宅についても具体的な取り組みの一つとして記載していただきたい
基本的方向２	●（１）地域福祉活動への参加と人材育成の促進 ・地域には、積極的に活動しているところもあれば、地域活動への関心があまり高くないところもあり、地域差があると感じている。そのため、そうした地域をどのように底上げしていくのかについても考えていただきたい ●（２）地域の様々な主体による活動の継続支援や充実・強化 ・「子ども会」への支援についても記載してよいのではないかと考える

	●（４）災害に備える地域づくり ・災害ケースマネジメントについては、仙台市の取り組みが制度化につながってきた経緯もあることから、その考え方を踏まえ、生活再建まで支援していくという方向性を明確にするべきなのではないかと考える。危機管理部局、住宅部局、福祉部局をはじめとする関係部局が連携して取り組んでいくことについても、明確にしていただきたい ・受援力に関する記載を入れてもよいのではないか ・今年は特に台風や水害に関する報道が多いが、気候変動や気候危機といった環境面の影響により、毎年のように水害が発生している状況を踏まえるとよいのではないか ・防災や災害への備えとして、日頃からのつながりや、安全な場所を知っておくこと、どのように避難行動をとるべきかを理解しておくことなどは重要であり、そのような意識を日常的に持っておく必要があると感じている ・自然災害の記載が多いが、感染症への対応については触れなくてよいか
再犯防止	●「（４）被害者支援、地域の安全安心の推進」において、「犯罪が起きにくい環境づくりを進めます」と記載されており、その趣旨は示されていると感じた。一方で、なぜ犯罪に至るのかという背景には、孤立や居場所の不足、困難な家庭環境などの課題がある場合も少なくないと思う
重層	●重層的支援体制整備事業については、本計画全体を通じて関連する取り組みが散りばめられているが、最後に重層的支援体制整備事業として整理する際に、同様の内容が繰り返し記載されることにならないようまとめ方に工夫が必要ではないか
その他	●SBL など、省略されている文言が分かりづらいため、正式名称を記載したほうがいのではないか ●プッシュ型で支援を行っていくという考え方について、計画の中で触れることが大切ではないか ●具体的に記載できる部分は具体的に記載してもよいのではないか